

1 個人評価

高く評価できる点	より努力を必要とする点	次年度に向けて
<ul style="list-style-type: none"> ・愛着関係の確立がしっかり行えた。 ・個々に応じた身体機能の発達を促し、様々なことへの興味や意欲へとつなげられた。 ・子ども一人ひとりの個性や性格、特徴を認めながら保育をすることができた。 ・0歳児の一人ひとりの発達段階を理解することができた。 ・子どもの興味を引くような音を鳴らしたりしながら、発達に合わせた遊びを工夫した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・途中入所の子どもや個々のより細やかな対応と見守り（待つ）保育をすること。 ・子どもに対する言葉のかけ方や口調に気を付けて、その場に応じた言葉がけができるようにしたい。 ・自主性をもって行動することが少なかった。 ・空気が乾燥する時期は感染症に感染する可能性も高くなるため、登園時は元気でも1、2時間後に発熱することもあるの、更に保護者と連携し子どもの体調管理と感染症予防に努めたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの行動をより深く見て、様々な表現を受け止めながら関わっていく。 ・年齢に応じた行動ができるよう、目を配りながら、各クラスの様子を把握できるようにしたい。 ・周囲の動きを見て、自分がどのように動いたら良いか考える余裕を作り、見通しを立てて行動する。 ・常に危険予知に努め、その先にどんなことが起こるかを見通して自分の立ち位置を考えて手を差し伸べられるようにしたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・園児一人ひとりの成長に合わせて繰り返し行うことで、子供の成長を見ることができた。引続き、ほめながらやる気をもたせていきたい。 ・一人ひとりに合わせた保育を行い、安心して過ごすことができるようにした。 ・新しく入った園児が安心して過ごせるようにした。 ・園児一人ひとりとの応答を通じ関係性を築きることにより、園児が甘えてくれるようになった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・やる気をもって頑張っている子ども達を、引続き、次の段階にもっていけるようにしたい。 ・弟や妹が生まれたことで、不安になるお兄ちゃんお姉ちゃんの気持ちを汲み取りながら関わることがうまくできなかった。 ・こだわりや甘えの強い園児に対する関りについて勉強して工夫していきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが一つでも多く自分で出来ることが多くなるよう言葉がけ等の援助を行っていききたい。 ・お友達同士でのトラブルがみられる時期なので、うまく関わっていけるよう援助したい。 ・環境面から園児が落ち着いて生活するようなアプローチを考えながら行いたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・園児一人ひとりの特性を見極め適切な関りを模索しながら接するよう務めた。 ・また、一人ひとりに寄り添い、信頼関係を基づけるよう頑張った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の活動が単調になりがちで、園児が新鮮な驚きや喜びを引き出せなかった。 ・手遊びのレパートリーを増やした。 ・もっと園児一人ひとりに寄り添い良い保育をしていけるようにしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・園児にどのような言葉がけをすれば理解してもらえるか工夫したい。 ・他の先生方と話し合い、自分の経験したこと等を園児にも経験させたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・想定外のこと、予想外のことにも素早く対応できた。 ・園児の個々の発達段階にあった声掛けができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ピアノの練習が必要だと感じた。 ・園児がより成長できるような環境づくりを行っていききたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・臨機応変に取り組む。 ・豊富な知識を身につけ保育に生かしたい。

<ul style="list-style-type: none"> ・障害のある子ども皆と一緒に活動することにより、子ども達に自然と相手を思いやる気持ちが育っていった。困っているお友達がいると、優しく接したり「どうしたの」と周りを気遣いしたり、子どもたちに思いやりの心を育てることができた。 ・子ども一人ひとりに合わせた言葉かけ、教育・保育を行うことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・気になる子や障害をもつ子に対しての学びが必要と感じた。 ・常に「質の高い保育」を日々考えながら保育を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・その子に合わせた保育活動を行い、小学校就学へ向けての準備段階も踏んでいけるようにしたい。 ・園の行事を把握しつつ要領よく活動できるよう流れを考え、濃い保育をしていきたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・食育活動を通じて噛むことやマナーの大切さを伝えられた。 ・新型コロナウイルスの感染拡大により、皆が、今まで以上に、うがい、消毒、殺菌に気をつけ、健康面にも注意するようになった。 ・安全に給食を提供できた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナかということで、子どもたち同士でお話ししながら楽しく食事をするという行為ができず、食べることの楽しさが減っていると感じた。 ・子どもたちの苦手な食材を使った献立でも美味しく食べてもらえるように努力したい。 ・食べ物に直接触れたり、目で見て感じたり、職に興味をもてるような食育を実践したい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスが落ち着いたら、バイキング形式での食事やクッキングなど、子どもたちと一緒に体験できる食育活動をしたい。 ・子ども達が苦手な食材の調理（皮むき、種とり等）に携わることで、「自分で作ったものは美味しい！」という体験をさせたい。 ・コロナ禍でも楽しめるよう食育内容にしていきたい。 ・季節毎の旬の食材を学び、食材一つ一つにも興味をもってもらえるような活動をしたい。 ・ネットや他園を参考にしながら、知識を増やしたい。

2 クラス運営評価

高く評価できる点	より努力を必要とする点	次年度に向けて
<ul style="list-style-type: none"> ・愛情をもって子どもに接し、ゆっくり目標に向かって取り組めた。 ・月齢に応じた活動を取り入れながらその子に合った活動を行うことができた。 ・一人ひとりが自分の仕事を認識し、保育をすることができた。 ・生活のリズムを園児一人ひとりに配慮して、少しづつ園の生活に慣れるよう子どもをおおらかに迎え入れている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもへの対応の仕方や援助の方法等、同じ方向性をもって取り組めるようにする。 ・年後半になるにつれ食べ物の好き嫌いがはっきりしてきたとき、好き嫌いの偏りがないよう工夫して食事ができるようにする。 ・噛みつきが発生したとき、保育者同士の声掛けが足りなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合う機会をより多く持ちながら、保育教諭相互の共通理解に努める。 ・どうしたら、上手に食べたり、一人で自分のことができるようになるか、子ども一人ひとりに合わせて考えを練って行動していきたい。 ・同僚性をもって些細なことでも話し合うことで、子どもの理解や保育の質の向上に繋げていきたい。

<ul style="list-style-type: none"> ・子ども達の様子を見ながら、その都度話し合いをして行けた。 ・子どもの健康状態を含めた様子について、職員間で情報共有できた。 ・絵本など園児が興味をもつものに触れる機会を積極的に設けることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループの担当保育教諭が変わると子どもたちの様子も変わるので、担当が変わっても変わらないようなかかわりをしていきたい。 ・園児一人ひとりの特徴をもっと早く把握していいければ良かった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・クラスの保育士同士の話し合い、主任や園長とも相談していきたい。 ・園児一人ひとりをみられるよう、声掛け等しながら行っていきたい。 ・園児一人ひとりの個性を職員間で共有し関わり方を研究していきたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・段階的に園児の能力を伸ばしていけるよう、その時々で園児一人ひとりの能力を加味しながら計画を立てて進めていけた。 ・事故やけが等なく、園児は楽しく生活することができた。 ・クラスの先生方と保育について話し合い保育ができたと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各保育教諭が同じ目的に向かい行動することに欠けていた。 ・職員同士、クラス運営について、もっと意見交換等話し合いをしていきたい。 ・今以上に保育者同士で情報交換をしていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス担当教諭全員で話し合いながら目的意識等を教諭しながらクラス運営を行ってきたい。 ・昨日までやっていたことをそのままやるのではなく、固定観念にとらわれず挑戦していきたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・遊ぶとき学ぶときにメリハリをつけて過ごすことができた。 ・相手を思いやる気持ちを育てることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・製作が苦手な子が多いため、製作に集中して取り組む時間が少なめであった。 ・今以上に、「もっとやりたい」「もっとやれる」という子ども達の気持ちを汲み取ってあげたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・椅子に座って集中することを見つける。 ・子ども達の言葉をしっかりと聴き、日々の保育を行ってきたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりの発達段階に合わせたクラス活動ができた。 ・新型コロナウイルス感染防止のため、手洗いうがい密をなくす等様々な工夫ができた。 ・4歳と5歳、各年齢に合わせた保育ができたと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりに合わせたカリキュラムを作成し実践したが、その子にとって簡単すぎた難しすぎたりとバラつきがあったので、もう少し差がないように子ども達を見極める力をつけた。 ・見通しをもって、指導計画を立て活動することがあまりできなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・何かをできない子でも、寄り添いできるようになりたいという意欲をもってもらい、更に、どこまでいけるか積極的に取り組めるようにしたい。 ・時間の使い方を考え、無駄なく活動できるようにしたい。

3 園全体評価

高く評価できる点	より努力を必要とする点	次年度に向けて
----------	-------------	---------

<ul style="list-style-type: none"> ・子ども達が、ワクワクできるような保育の取り組みができた。 ・登園時の子どもの常態を把握し記録しつつ、各クラスの先生方への伝達もスムーズに行うことができた。 ・コロナ禍行事が縮小したが、その分子どもが楽しめる活動を沢山取り入れていた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍での保育を広げられるよう見直しをしていく。 ・園児の忘れ物等が何回かあり、それを見落とした。 ・コロナ禍、先行きが見えず、保護者を不安な気持ちにさせてしまうことがあった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナかでの保育を広げられるよう見直しをしていく。 ・園児の持ち物チェック等は、2人以上の保育教諭で行いたい（二重チェック）。 ・コロナ禍では、適切な情報だけを保護者に伝え不安な気持ちにさせないように努めていく。
<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍、職員同士連絡をとりながら、保護者対応ができた。 ・園児が自由にが楽しく過ごせるようにした。 ・コロナ禍通常通り行えない行事も、工夫しながら実施できた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・体を動かす遊びが多かった分、転倒等によるケガや事故に気を付けて行きたい。 ・落ち着かない園児に対する声掛けや次の行動への工夫が足りなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員同士の連絡や情報交換等、更に密にしていきたい。 ・園でコロナ発生の際、園や職員のそれぞれの動きを確認していく。 ・園児が増えている環境下、落ち着いて安心して過ごせる環境づくりを行いたい。 ・新型コロナウイルスまん延がいつ収束するかわからないので、引き続き、職員同士、保護者間とも連絡を密にしていきたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍特別な状況でありながらも、工夫しながら行事を計画実行することができた。 ・園内消毒等感染症対策は徹底して行うことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・クラスや園での出来事を全職員で共有することが足りなかった。 ・もっとお互い思いやり協力しながら保育を進めること。 ・コロナ禍先が見えないが、まん延防止のため衛生管理には、更に気をつけていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・報告・連絡・相談を徹底し協力し合いながら解決していきたい。 ・子どもの体調管理等についても先生同士で情報交換を活発にしていきたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍に合っても、素早く対応できた。 ・コロナ禍に合っても工夫した楽しめる行事ができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・行事が少ない分、緊張感が少なく感じた。 ・新型コロナウイルスまん延防止策をしっかり行い、限られた環境の中で伸び伸びと安心して園生活を遅れるよう配慮したい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・何事も積極的に取り組んでいきたい。 ・新型コロナウイルスは、うつさない！うつらない！で子供たちや保護者と関係を構築していきたい。

<ul style="list-style-type: none"> ・職員会議等で保育の質の向上にむけ、園長や他の職員のアドバイスを聞き、次に生かすよう工夫してきた。 ・クラスの保育教諭と連携が取れお互いで助け合いながら保育をすることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・同じ5歳クラスでも、その年その年の子ども達に合わせた保育活動を進めたい。 ・保育教諭一人ひとりが、自分の立場や役割を意識しながら仕事をする必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣はしっかりとできるようになりつつ、最低限、自分のことは自分で使用と意欲をもって取り組めるよう活動したい。挨拶を含め細かいところまでできるよう、子ども達とともに成長していきたい。 ・良いところはそれぞれ真似をして、保育教諭一人ひとり、保育の質を高めていけるようにしたい。
---	---	--